

い おも わたし まよ
 言うも思うも 私の迷い
 す きら か
 好きも嫌いも変わります

ひかり

No.113

2021(令和3)年
 3月1日
 発行

浄土真宗本願寺派
 和歌山教区日高組

責任者
 永原智行



コロナ禍の中 本山で御正忌報恩講が感染症対策のもと厳かに営まれました(1/12)

ヒダカくん・ひかりちゃんのお話

『御文章』のお話

その16
 永原智行

睡眠章

そもそも、当年の夏このごろは、なにとやらんことのはか睡眠にかされて、ねむたく候ふはいかんと案じ候へば、不審もなく往生の死期もちかづくかとおぼえ候ふ。まことにもつてあぢきなく名残をししく候へ。さりながら、今日までも、往生の期もいまや来らんと油断なくそのかまへは候ふ。それにつけても、この在所において以後までも信心決定するひとの退転なきやうにも候へかすと、念願のみ昼夜不断におもふばかりなり。

この分にては往生つかまつり候ふとも、いまは子細なく候ふべきに、それにつけても、面心の心中もことのはか油断どもにてこそは候へ。いのちのあらんかぎりは、われらはいまのごとくにてあるべく候ふ。よろづにつけて、みなみな的心中こそ不足に存じ候へ。

明日もしらぬいのちにてこそ候ふに、なにごとを申すもいのちをはり候はば、いたづらごとにてあるべく候ふ。命のうち不審も疾く疾くはれられ候はでは、さだめて後悔のみにて候はんずるぞ、御こころえあるべく候ふ。あなかしこ、あなかしこ。

この障子のそなたの人人のかたへまゐらせ候ふ。のちの年にとり出して御覧候へ。
 「文明五年卯月二十五日 これを書く。」

(2面に続く)

「ご文章のお話」つひき

◎語句

あぢきなく…やるせなく。

以後までも…私(蓮如)が亡きあとも信心決定…たしかに信心が定まること。

退転なきように…無くなってしまわないように。

この分には…私自身(蓮如)については。

子細なく…異論なく。さしつかえなく。

不足に…不満足。

いたづらごと…むなしく、無益なこと。

文明五年…一四七三年。蓮如上人五十九歳。

◎現代語訳・大意

今年の夏は、なぜかことに眠気におそわれてこのように眠いのはいいことかどうかと考えてみます。これはきつと浄土に往生するときに近づいたのではないかと思われまます。本當にどうしようもなく、またなごり惜しいことです。

しかし、私は今日までも往生のときが今にもくるかと、油断せずにその心構えはしていました。それにつけても、この土地で、私の亡き後も信心を決定する人たちが、これから後も続いて下さるようにと、いつも心から願っているのです。私が往生することについては、何の疑いもありませんが、あなた方の心には、大いに油断があるように思います。いのちのある限り、私たちは、いつ往生の時がきてもよい心構えが十分にできていないように思えます。

ひかりちゃん ファー眠たいなあ。春眠曉を覚えずって今頃のことをいうのね。

ヒダカくん 春眠だけなの。毎日眠たいなあーとちやうせん。

ひかり

蓮如さんも、眠たいなあって言っているわよ。

ヒダカ

眠たいとだけを言っているんじゃないよ。眠たいのは歳のせいであり、眠たい眠たいと言って毎日暮らしてはいけないうと諭されているんだよ。

ひかり

眠たいだけでなくどうするの。

ヒダカ

私の後生は阿弥陀さまにおまかせしているから、大丈夫という気持ちで早くなれと言われてるんだ。

ひかり

後生って？

ヒダカ

命終わってからということ。

ひかり

死んでからの世界と云うこと。

ヒダカ

「死後の世界」というような言葉がオカルト的なんだ。

感染予防の基本

◎体調管理 体温を測定 体調を確認	◎手洗い・消毒 丁寧な手洗い 共有物も消毒	◎咳エチケット 症状がなくても マスクを着用
◎席配置の工夫 手を伸ばしても 届かない程度に	◎適度な換気 こまめに 空気を入れ換え	◎密接を避ける 会話のときは 正面に立たない

阿弥陀さまは、僕たちが命終えたとき、

間違ひなくお浄土に往生させてくれるんだ。

お経の最後に「往生安楽国」と云うだろう。

僕たちが亡くなってこの世の縁が切れたとき迷いの世界・苦の世界にいるんじゃないよ、安心できる世界にいるんだよ。

僕たちが信じているみ教えを、浄土真宗というんだ。お浄土に生まれて悟りを開くことを目的としているよ。最近のお説教をお聴聞していると、「今、生きていくうちに悟らなければならぬ」とか、「今救われなければ」とよく聞くよね。これは、「生」を強調し、「死」を消極的にみて否定的にみるからじゃないのかな。死後のお浄土のお話をおとき話のように思っていたり、「お浄土なんかみたくともない」「見たこともないようなもの信用できるか」と云うことになって、自分が見たり聞いたりして信用できて、やっとなんかそれを信頼するということに陥ってしまふよ。

自分ってそんなに何でも見たり聞いたりして、果たして正しく判断できるかな。仏教は、「生死」を云うよ。死により生があり、生により死があるというよ。死を消極的に且つ否定的に見れば「死んだら終わり」と云うことになり、生を謳歌すれば言うこと以上に生にとらわれてしまふ、「生きていくうちに」という考えに陥ってしまふんだ。阿弥陀さまは、死をふまえ、生きていくこの世を力強く生きなさいよと励ましてくれているんだね。

ひかり 死後の安心と現世をいかに生きるかが、阿弥陀さまの願いなのね。

法話 阿弥陀さまに抱かれて

近年、高齢者の一人暮らしの方が多くなり、日常の生活が困難になると、老人介護施設でお世話になります。昨年も、このような境遇により介護施設でお亡くなりになった方がおられました。この方には身近な親族は無く、身内になる人は甥や姪にあたる方々で、その方々も遠方に住んでおられま

す。施設からの亡くなった知らせは、甥にあたる方でした。その方はお昼頃に知らせを受けたようですが、ご遺体を引き取ったのは午後七時頃であったようです。施設の職員の方から、「最後は眠るように、静かに亡くなられました」とお聞きしたとのことでした。

生前を知るある方が、「最後を看取り、お亡くなりになっても直ぐに引き取ってくれる方がいないのは寂しいことですね、私には子供が居ますが、遠くで生活しているので私もそうなるのかと思えば心配です」と話されておりました。

お葬式はコロナ禍の状況もあって、甥や姪にあたる数人と生前に付き合いのあった方々でおこなわれました。また中陰のお勤めも遠方から甥や姪にあたる数人が来られお勤めしましたが、七日勤めは遠方からです。毎週全員が集まるのは難しく、その方々は「次週は誰にしようか」と相談をしながらのお勤めでした。お勤めを済ませ、故人を偲び生前の様子などお話しするなかで、故人は施設に入る前はよくお寺にお参りされておりました。お仏壇にお参りした時には、「自分は身内も無く寂しい最後となるだろうが、阿弥陀さまに抱かれて往く

私たちにできること —法事をおつとめするために—

◎おつとめ中は

できるだけマスクを着用します。マスクをはずしておつとめする場合は、十分な距離を確保しましょう。

◎聴聞のときは

法話を聞くときに、対面になる可能性があります。マスクを着用しましょう。

◎お齋は

食べ物は取り分けるものは避けて、個々に用意します。コップや食器等の共有は避けます。

- ◎手洗い・消毒・咳エチケットなど、基本的な感染対策をお願いします。
- ◎座る間隔を空け、こまめな換気をしましょう。
- ◎暑いときは無理せず、「水分補給」するなど、熱中症にも気をつけましょう。
- ◎発熱がある場合は、お参りを控えましょう。

よ」と話されていたことがありました。故人はお念仏のみ教えに出遇われていたのでしょうね。私達は無常の命を生きています。明日の命がわからぬ私、仏法との出遇いは今なのですよと故人を偲びながら話したことでした。

もうすぐお彼岸です。お彼岸には、先立った方々を偲びつつ、自分の往く末「生死出ずべき道」、命の終わり、死を越える「道」を考え、お念仏の教えに出遇わせていただきましょう。

思えば、故人が生前に話されていたように、一人暮らしの寂しい最後であったでしょうが、阿弥陀さまに抱かれて安心の内に生涯をまっとうされたことなまんだぶつ・・・

(鈴木悟峰)

私たちのちかい

一、自分の殻に閉じこもることなく

穏やかな顔と優しい言葉を大切にします
微笑み語りかける仏さまのように

一、むさぼり、いかり、おろかさに流されず

しなやかな心と振る舞いを心がけます
心安らかな仏さまのように

一、自分だけを大事にすることなく

人と喜びや悲しみを分かち合います
慈悲に満ちみちた仏さまのように

一、生かされていることに気づき

日々一杯つとめます
人びとの救いに尽くす仏さまのように

シリーズ

「過疎問題を考える」

妙願寺 楠原晃紹

新型コロナウイルスの影響でリモートワークを導入している企業が増えています。報道では、ワーケーションというワーク(仕事)とパケーション(休暇)を組み合わせた造語が紹介されており首都圏を中心とした会社員の働き方が大きく変化した一年となったようです。

居住地域を離れてリモートワーク(テレワーク)しながら休暇を取るといいう新しいワークスタイルなのでしよう。

県下では、白浜温泉のように全国的にも有名な温泉地があるほか、いわゆる過疎地といわれる自然豊かな環境下で、個々のライフスタイルを楽しみながらリモートで仕事ができる地域がたくさんあります。

首都圏に一極集中していた人口が移動分散できる、またとないチャンスではないかと思えますが、都会の方々と地元住民の価値観の違いで地域に溶け込めずに過ごされてはせっかくの移住が不快なものとなりかねません。そこで、地域交流の場としてのお寺の役割が重要ではないかと考えます。

お寺の法座やイベントなどに地域の移住者らを積極的に誘い、住民と交流していただく機会をつくるのです。たとえば、海岸筋の別荘では都会から移住された方々がたくさん生活されています。そうした方々に声をかけて、地元のお寺に足を向けてくださることを過疎寺院の活性化の方策としてのみならず、一人でも多くの方に、阿弥陀さまの願いに触れて頂く機会をつくるきっかけにならうかと思われまます。

地域に根ざした寺院運営という観点から見ると、まだまだ創意工夫や模索しながらいろいろなことが実践できる気がします。

【応募方法】

ハガキ、日高組ホームページにてご応募してください。

法悦クイズ

〇ハガキで応募

- | |
|--------------------|
| ① 法悦クイズの答え ※必須 |
| ② 住所 ※必須 |
| ③ 氏名(ふりがな) ※必須 |
| ④ 年齢 |
| ⑤ 電話番号 |
| ⑥ 所属寺(〇〇寺) ※必須 |
| ⑦ 「ひかり」に対するご意見ご感想等 |

〒649-1113
和歌山県日高郡
由良町阿戸244番地
教専寺内 日高組事務所 行

63円
切手

〇ホームページから応募

日高組ホームページのメニュー内にあります応募フォームより、必要事項をご記入の上送信ください。

日高組ホームページへのアクセス方法
下記のいずれかの方法で、日高組ホームページにアクセスできます。

〇URLを直接入力してアクセス

下記のURLを直接入力してアクセスしてください。
<http://hidakaso.jimdo.com>

〇バーコード(QRコード)からアクセス

お使いのスマートフォン等にQRコード読み取り機能で右のQRコードを読み取るだけでURLが表示されます。アドレス入力しなくても手軽にアクセスできます。



【応募締切】

2021年 5月20日(必着) 発表は次号です

☆正解者の中から抽選で10名の方に『粗品』を進呈します。

「②仏教徒として生きぬくための名前」でした。

【解説】 法名は仏道修行するのではなく、ただ念仏して如来さまを仰ぐ人生を歩む人に与えられるのですから、死ぬときを待つ必要もなく、また死ぬときのためでもなく、今生きている自分のためにいただくのです。

Q お仏飯の供え方で正しいのはどれでしょうか？

次の①～③の中から一つ選んで番号を書いてください

① 小さなお膳にご飯とお水を供える
② 茶わんにご飯を盛り、箸を立てて供える
③ 仏飯器に蓮のつぼみ型に盛り、ご本尊前に供える

- 正解者の中から、次の方に粗品を進呈いたします。
- | | |
|-------------|-------------|
| 由良町 中崎エミコ 様 | 由良町 磯崎藤代 様 |
| 由良町 岩根登代美 様 | 由良町 小林民子 様 |
| 由良町 磯田由美 様 | 由良町 中口小夜美 様 |
| 由良町 中川恵美 様 | 由良町 平林道子 様 |
| 由良町 濱崎香代子 様 | 由良町 曾根益子 様 |

“煩惱”を 差別の言い訳にする 愚かさよ



余間には御絵伝(上)が懸けられ、御伝鈔(下)が拝読されます

ごでんき ごでんしょう ごえでん
『御伝記(御伝鈔)』と『御絵伝』

本願寺第三代覚如上人は、親鸞聖人のご遺徳を讃仰するために、そのご生涯の行蹟を文章と絵で交互に描いた絵巻物をつくられました。『善信聖人親鸞伝絵』あるいは『本願寺聖人親鸞伝絵』などと呼ばれています。後に多くのご門徒の方々にご覧いただけるようにと文章と絵は別々に分けられ、それぞれ『御伝鈔』、「御絵伝」と呼ばれ、全国に流布するようになりました。ご本山では御正忌報恩講期間中、余間に御絵伝を懸け、1月13日初夜勤行後に御伝鈔が拝読され宗祖親鸞聖人のご生涯を偲ばせていただきます。初日から四日間で御絵伝の解説も行われます。ご本山では御伝鈔を御伝記と呼びます。また、翌14日速夜法要後には本願寺代8代蓮如上人がお書きになった御俗姓(ごぞくしょう)が拝読されます。この御文章には報恩講における門徒の心得が説かれ、一念帰命の真実信心を勧められています。

門徒心得

「お仏飯をお供えする」

お仏飯とは仏さまに供えるご飯のことです。供えたご飯は、仏さまや先祖さまが召し上がるためのものでなく、食べ物への感謝の気持ちを表すもので、仏さまから私たちへのいのちの恵みとして味わいます。

ではなぜご飯なのかと言えば、日本人の主食であり、あらゆる食べ物代表だからです。私たちが主食として大事に頂いているのがお米、このお米も命です。このお米を仏さまにお供えし、私たちがご飯を頂いていることに感謝をする。そして仏さまにお供えしたおさがりを私たちはいただきたいという思いでお供え頂けたらと思います。

盛り付けにも色々な意味があり、本願寺派では丸い円錐型に作り、蓮のつぼみ型に盛るといふのがならわしです。蓮はお浄土に咲く花で、仏さまのお心を表す花なのです。ですからこの蓮のつぼみのようなお仏飯を見たときには、この蓮のつぼみの中から仏さまはお生まれになると、先に亡くなられた方は蓮のつぼみからお生まれになったんだ、そして私たちが命尽きる時にはここから生まれさせてもらおうだと思いつつ、いのちのことに感謝してお供えするというのがお仏飯です。

お供えしたお仏飯はいつ下げればいいのか。丸一日ずっと供えておくものではありません。お仏壇にお供えしてお参りが終わればさげてください。おさがりです。おさがりからありがたく、おいしくいただきます。



親鸞聖人御誕生850年 慶讃法要
 立教開宗800年

Joint Celebration

850th Anniversary of Shinran Shonin's Birth & 800th Anniversary of the Establishment of the Jodo Shinshu Teaching

法要期日

2023(令和5)年

第1期 3月29日(水)～4月3日(月)

第2期 4月10日(月)～4月15日(土)

第3期 4月24日(月)～4月29日(土)

第4期 5月6日(土)～5月11日(木)

第5期 5月16日(火)～5月21日(日)

毎月16日はShinran's Day

親鸞聖人のご命日です ご参拝ください

浄土真宗本願寺派
龍谷山 本願寺

仏さまにお供えすることで、食べ物というのはありがたい、命を頂くことなんだ、「いただきます」「ごちそうさま」物を粗末にせず大事にしなければならぬと感じながら、お仏飯を仏さまにお供えし、おさがりをいただくということをしるし習慣にしていきたいと思えます。

(鈴木章吾)



善宗寺(日高町志賀)御正忌報恩講法要(1/23~24)

「報恩講」とは、浄土真宗のみ教えをいただく私たちが念仏者にとって、宗祖親鸞聖人のご遺徳を偲び、そのご苦勞を通じて、阿弥陀如来のご本願によるお救いをあらためて心に深く味わわせていただく一年でもっとも大切なご法要です。

「報恩講」という名称は親鸞聖人の33回忌のご法要にあたり、本願寺第3代覚如上人がそのご遺徳を讃仰するため『報恩講私記』をご制作になられ、以来、700年を超える歴史の中で、先人たちが親鸞聖人ご命日の法要を「御正忌報恩講」として脈々と受け継ぎ、今日まで大切にお勤めしてききました。

コロナ禍の中 感染症対策のもと 御正忌報恩講 厳かに営む



入り口には使い捨てマスクとアルコール消毒液を用意しました



昨年10月下旬より日高組各寺院で報恩講が営まれましたが、例年通りの法要ができなかった寺院が多かったと伺いました。

今年こそ満堂のお同行とともにお念仏申させていたいただきたいです
(編集委員会)



例年であればご本山や各寺院にご家族や有縁の皆様と一緒に多くのご門徒がお参りし、「報恩講」をお勤めしてまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大が深刻化している状況下のため、日高組内の各寺院の法要につきましましては日高組コロナウイルス感染症の拡大のための予防の指針に従って、それぞれ可能な限りの感染予防対策を行い「報恩講」をお勤めいたしました。

昨年より新型コロナウイルス感染症が世界中に拡大し、私たちが取り巻く環境は大きく変化しましたが、今後も参拝者の安全・安心を考慮し対策を講じながら、報恩講をより多くの方々とともにお勤めし、お念仏の道をお示しいただいた親鸞聖人のご遺徳を偲ばせていただきたいものです。

(鈴木章吾)

御本山の御正忌報恩講法要に参拝

親鸞聖人のご遺徳を偲び、お念仏に遇わされていたご恩に報謝する御正忌報恩講法要が京都西本願寺の御影堂で、1月9日から16日まで厳かに営まれました。

今年には新型コロナウイルスの感染拡大により参拝者が例年になく激減し、当初予定されていた成人式が3月に延期された他、予定されていた諸行事が中止されたりインターネット配信のみとなりました。

12日、西大谷に納骨後速夜法要に4人で参拝しました。御影堂に入堂の際に検温と手指消毒を行い、住所・所属寺・参拝人数を係員に報告して入堂し、十分に距離を開けた椅子に着席しての法要でした。堂内すべてが椅子席のため、足元が更に冷たく感じ底冷えのする寒さでした。

法要への出勤者募集も急遽中止され、本願寺の職員が交代で参勤したと伺いました。もちろん、ご門主さまや出勤者全員がマスクを付けてのお勤めでした。

法要期間中の13日夜、緊急事態宣言が京都府に発出されたため、14日以降は椅子席をすべて撤去して堂内にとどまっていた法要参拝を遠慮いただくなど、法要への参拝者の受け入れが中止される異例づくしの法要でした。

毎年、御正忌は本願寺に参拝して全国の同志や同窓生と再会するのが楽しみで、今年には本山の職員さん以外とは当然お会いすることもなく、少し寂しいお参りとなりましたが、来年以降は元のにぎやかな御正忌となるよう念じております。(楠原)



新型コロナウイルスの感染拡大に伴うすべての人へのメッセージポスターが宗門で作成されている



つながりの中で生きていく



浄土真宗本願寺派(西本願寺)



新たな日常 新たな気持ちで ご法事を

令和3年 年忌法要 ご法事は所属のお寺とご相談ください。

令和3年 (2021年)	年忌法要 ご往生年	一周忌 令和2年 (2020年)	三回忌 令和元年 平成31年 (2019年)	七回忌 平成27年 (2015年)	十三回忌 平成21年 (2009年)	十七回忌 平成17年 (2005年)	二十三回忌 平成11年 (1999年)	二十五回忌 平成9年 (1997年)	二十七回忌 平成7年 (1995年)	三十三回忌 平成元年 昭和64年 (1989年)	五十回忌 昭和47年 (1972年)	百回忌 大正11年 (1922年)
-----------------	--------------	------------------------	---------------------------------	-------------------------	--------------------------	--------------------------	---------------------------	--------------------------	--------------------------	-----------------------------------	--------------------------	-------------------------

※百回忌以降は五十回忌ごとに行います。なお、地域によっては二十五回忌を二十三回忌と二十七回忌に分けて行われる場合もあります。

青色青光 黄色黄光 異なる色が集まり 虹となる

親鸞聖人御誕生850年 立教開宗800年 慶讃法要

① 親鸞聖人御誕生850年(2023年)

2023(令和5)年は、宗祖親鸞聖人の御誕生から850年目です

② 立教開宗800年(2024年)

立教開宗を言葉通り読むと「教えを立て、宗を開いた」といいますつまり、「親鸞聖人が教えを説き、浄土真宗を開いた」という意味です具体的には親鸞聖人が「**顕浄土真実教行証文類**」(教行信証)を完成された年です

2024(令和6)年は、その「立教開宗」の年から800年目です

令和5年にお迎えいたします親鸞聖人御誕生850年、立教開宗800年慶讃法要は、『親鸞聖人の説き示してくださった浄土真宗の教えに出遇うことがなければ今の私はあり得なかつたという聖人への感謝と、その教えに出遇えたことの喜びを込めて、聖人のご誕生を祝い、「立教開宗」に感謝する法要です。

日高組におきましても2年後の団体参拝を予定していますので、日程等の詳細が決まり次第お知らせいたします。

読者の声

※法名の意味をはじめて知りました。戒名とちがうんですね。又一つ賢くなりました。

※ひかりいつも楽しみにしています。今年コロナで行事とかあまり出来なくて残念です。どうか早く終息してくれそうですように。

※いつもお世話にありがとうございます。合掌

※法話はとても楽しみに拝見しました。法名の本当の意味を初めて知ってとても勉強になりました。

※法事とは仏法を聞くご縁。なる程、おめでたい法縁。これからは、赤飯を頭の隅に置いておこう。

※コロナが早く終息してほしいですね。毎回教えられる事が沢山あります。ありがとうございます。

※コロナ禍の中、大変な一年でした。その中でも「ひかり」を拝読させていただき勉強になりました。

※いつも「ひかり」を読んで仏教のこと他いろいろと学ぶ事の大切さを実感しています。今年コロナで大変な年となりましたが、来年はよき年になりますように。

※コロナ禍でなにもかも中止となり、人の出合いが少なくなり寂しい一年となりましたが、先日久しぶりにお寺にお参りでき、うれしく思いました。来年こそ明るい年をむかえられますように祈る日々です。

※法悦クイズ等を通して基本的な仏教の知識等を学ぶことができ、ありがたいとおもいます。

日高組通信

☆行事報告

◎第26回真宗法座

12月13日(日)に予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大により、執行部で慎重に検討した結果、やむなく中止とさせていただきます。

◎組内会

第2回組内会が12月19日(土)志賀即生寺で開催されました。
第3回組内会が2月20日(土)阿戸教専寺で開催されました。

☆行事計画

状況によっては急な中止もありえます。

◎令和2年度日高組実践運動委員会

3月6日(土)午後2時から小浦円行寺にて開催します。

◎令和2年度日高組定期組会

3月27日(土)午後2時から阿戸教専寺にて開催します。

なお、総会に先立ち今年度の日高組役職者の物故者追悼法要を勤修いたします。

ひかり編集委員会(広報部)では読者の皆さんからの投稿を募集しています。

法悦クイズには是非チャレンジしましょう。同時にご意見ご感想を添えていただければ幸いです。